

NPO 健康医療開発機構

第 11 回シンポジウム

『あなたの医療・わたしの医療—納得できる医療を求めて—』(2017年12月16日)

# わたしにとっての選択

## —がん患者としての経験から—

竹本 治

# 1. 闘病の経緯

病名：悪性リンパ腫（血液系のがん）

治療	勤務	1回目	2回目（再発）
漢方治療  抗癌剤	通常勤務 (若干削減)	2005年夏 (3年半)	2015年春 (半年)
	休職 (1年3か月)	2008年冬	2015年冬
	復職 時間短縮勤務	2010年春 (2年半)	2017年春 (??)
	通常勤務	2012年	2019年頃？

## 2. 闘病は「受験」、患者は「受験生」

志望校に受かりたい  
毎日一所懸命勉強している

受かるのかどうか不安  
勉強に嫌気がさしてしまう

良い先生  
正しい勉強方法

家族の応援  
支える家族も大変

周囲のサポート

### 3. 「受験生（患者）」の直面する課題

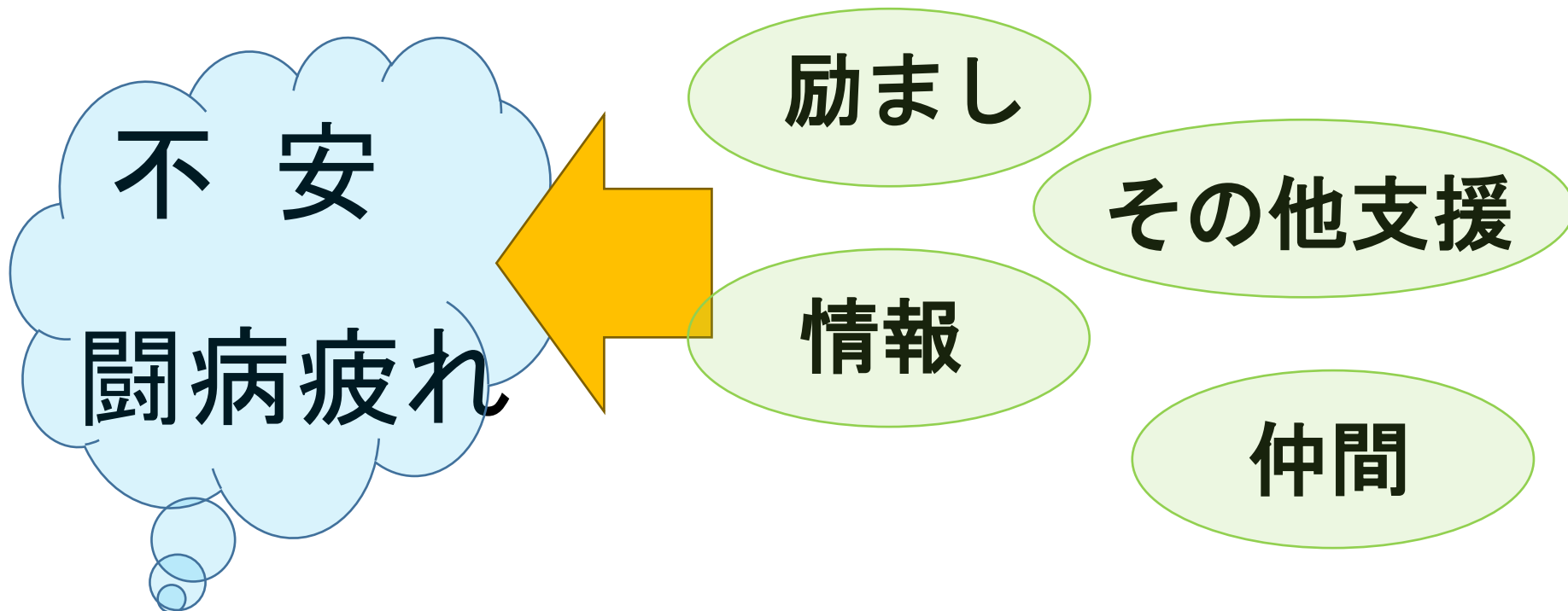
心理：「受かる」だろうか？

情報：何をしたらいい？

経済：お金は大丈夫？

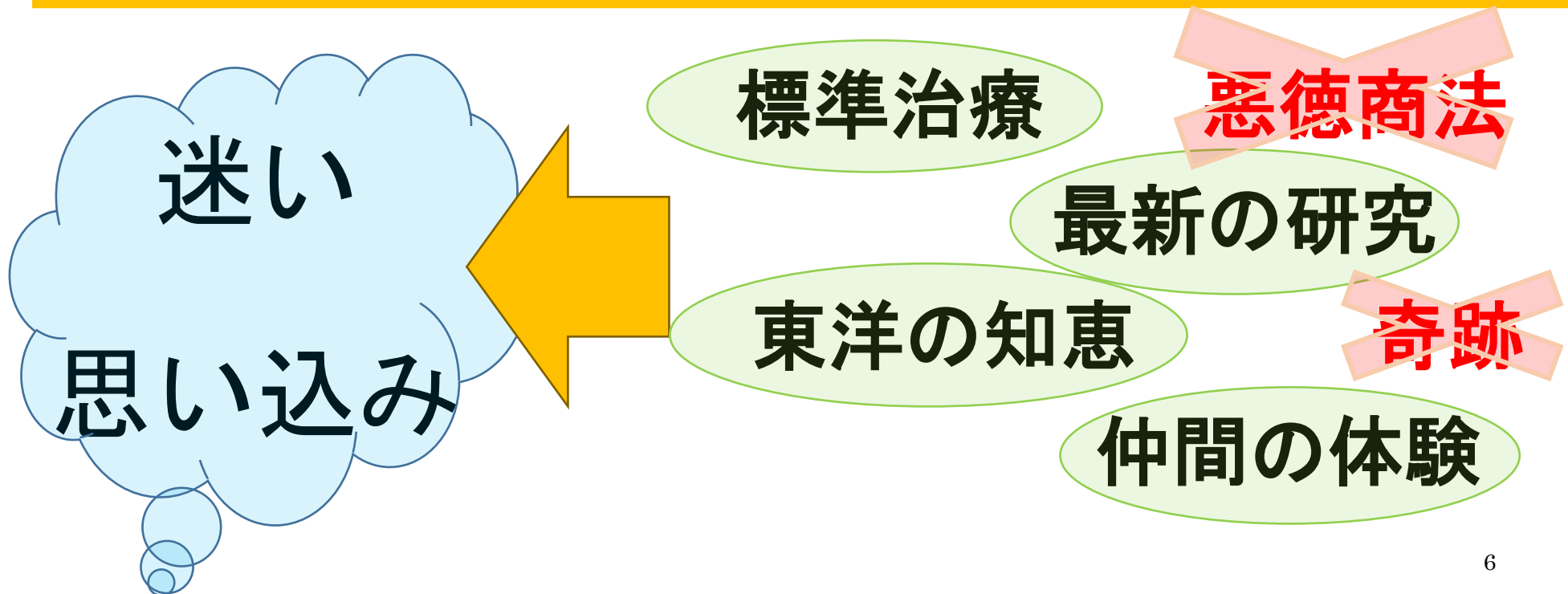
## 4. 患者の選択（1）「公表」

「自分は『受験生』だ」と宣言する。  
ひとりで頑張らない。心配しない。



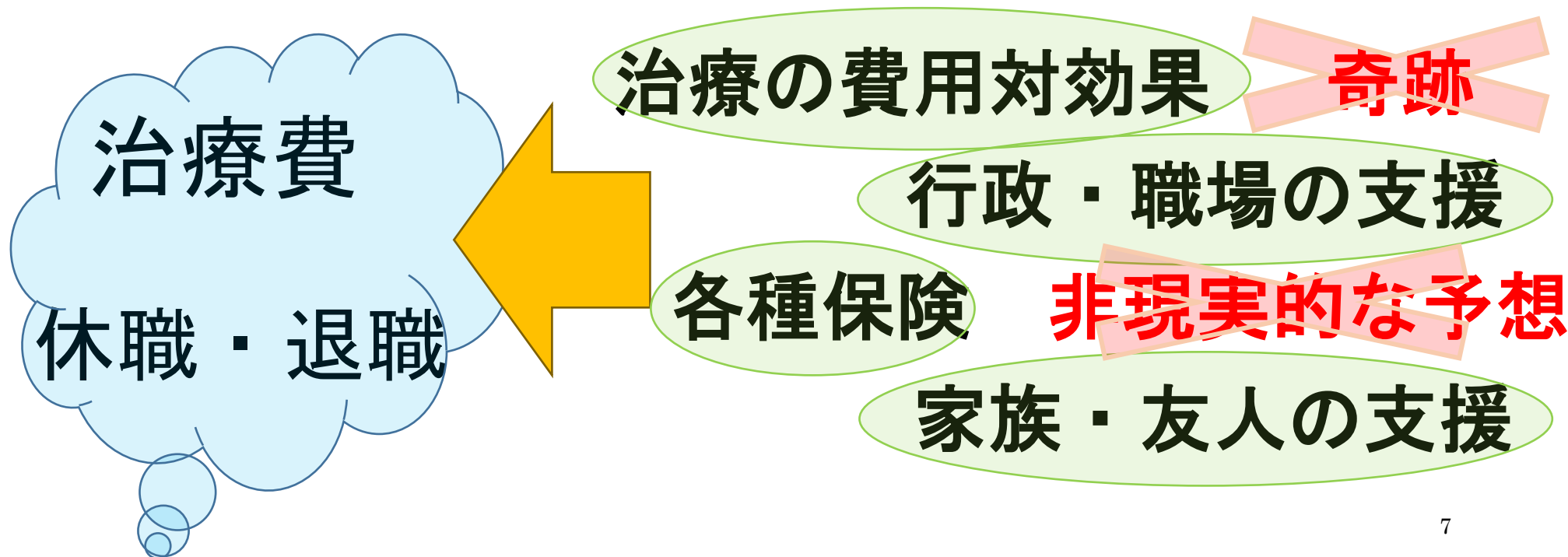
## 4. 患者の選択（2）「治療法」

「受験」は情報戦。自分自身が「勉強法」を探す。  
地道に「合格確率」を上げるのみ。奇策はない。



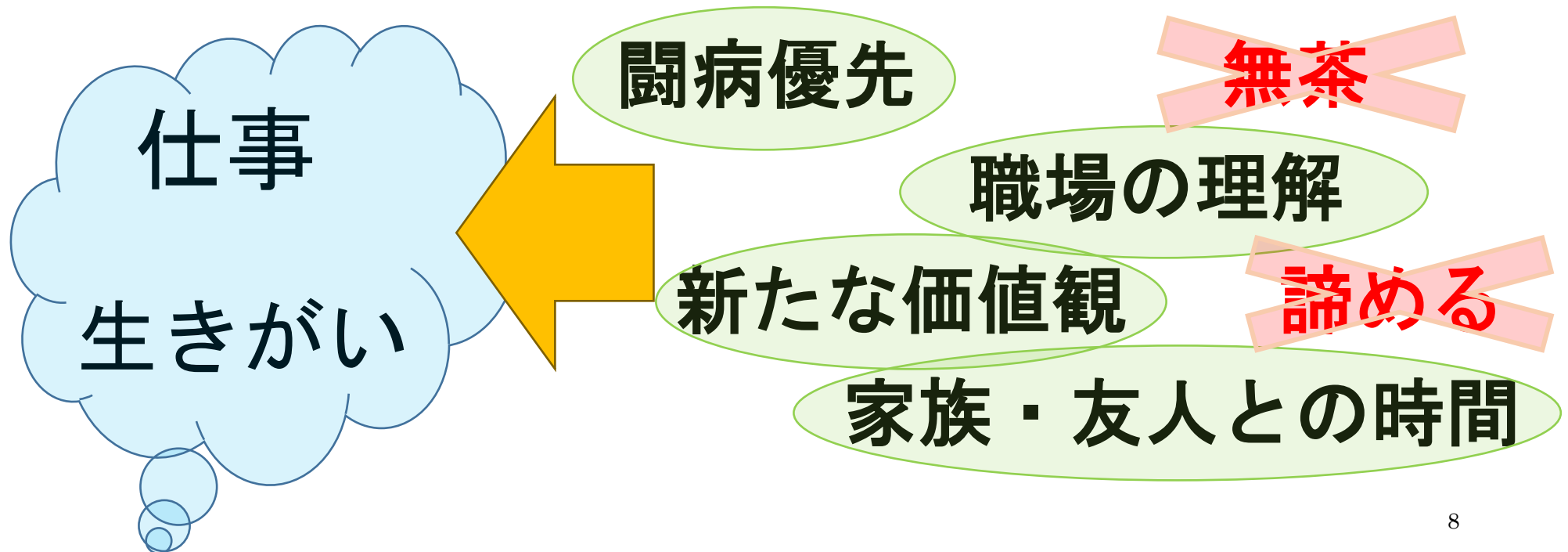
## 4. 患者の選択（3）「経済」

「受験」にも費用対効果はある。  
経済状態にあった現実的なプランを。



## 4. 患者の選択（4）「生きがい」

受験生でも「部活」は続けたい。  
ただ、受験は受験で成功しないと・・・。





## 4. 患者の選択（5）「人事天命」

「合否」は自分だけではどうにもならない。  
天命の下で、一日一日を大切に。

